



良好な水環境の創出に向けた水環境制度の展開について

令和8年5月26日

今後の水環境制度の展開について基本的な考え方（第6次環境基本計画）

- これまでの各主体の取組により水質は概ね改善し、環境基準の達成率は高いが、残された課題がある。
- 水環境を**多面的な観点で把握し、水環境の保全と活用を推進**。

課題のある水環境

【残された水環境の課題】

- ・水質基準の達成率と水辺環境への住民満足度との乖離
- ・生物多様性への対応
- ・CODの下げ止まり
- ・低い底層DO
- ・水産資源の減少
- ・栄養塩類不足の指摘
- 等

【今後の展開】

これまでの取組をベースにしつつ、

- ・**多面的な観点**から水環境を把握
(水質、生物の豊かさ、景観、文化、地域活動等)
- ・水環境の「**保全**」に加え、「**活用**」の観点も推進

望ましい水環境

【環境基準と各主体による取組による改善】

- ・汚濁物質の流入負荷量の減少
- ・水質の改善

【第6次環境基本計画（令和6年）の視点】

人々のウェルビーイングの向上

- ・良好な環境を持続可能なかたちで利用することで地域住民の満足度（ウェルビーイング）の向上

地域活性化

- ・生物多様性の保全や地域づくり等にも資する総合的な水環境管理を目指すための取組の実施

良好な環境の創出

- ・地域特有の自然、文化の保全による良好な環境創出（豊かな水辺、星空、音の風景等）

日本の水環境における課題等の状況

■ 日本の水環境における課題等の状況

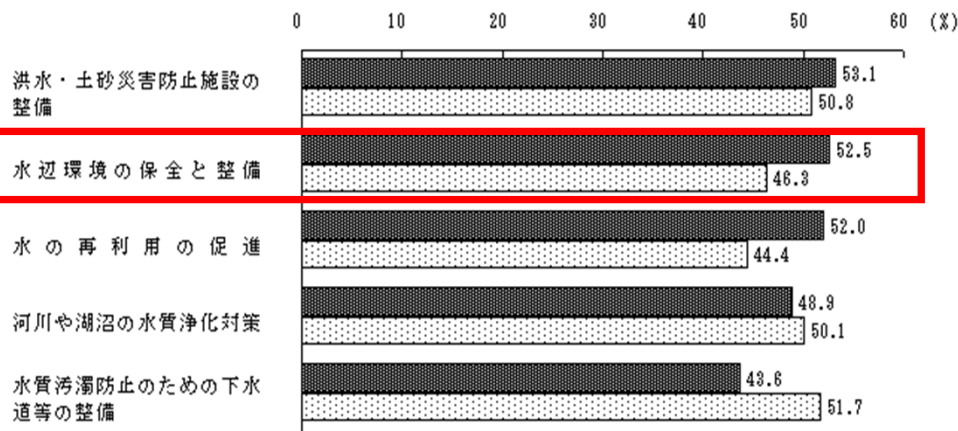
- ① 水質汚濁に係る環境基準について、過去20年程度、高い達成率で推移するなど、**公共用水域の水質は改善した**。汚濁は改善した一方で、**豊かな水環境は実現できていない**。近年、水環境の保全や創出に携わる担い手不足や活動資金も不足。
- ② また、豊かな水環境は、地域の文化や生活を形作ってきたものであり、現在、課題となっている**地方活性化へのソリューション**として、地域固有の水環境を保全しつつ、**観光や地場産業の創出などの水環境の利活用に取り組む地域が増えてきている**が、その**取組は限定的**。
- ③ 内閣官房が推進する「地域未来戦略」においても、地方の伸び代を最大限活かすため、「地場産業」の成長プランを強力に後押しするなど、地域活性化が重要戦略となっているところ、各地の**水環境の利活用を推進することは、住民の豊かさ・満足度向上への寄与と、観光や地場産業の強化を含めた地域経済発展の好循環をもたらすことが可能**。
- ④ なお、一方的で過度な水環境の利活用は、**水質、景観などの悪化を招くおそれがあり、水環境の活用を継続していく観点から保全の取組も併せて行う事が必要**。

課題等の状況（①水質は改善したが、課題が残る）

① 水質汚濁に係る環境基準について、過去20年程度、高い達成率で推移するなど、**公共用水域の水質は改善した**。汚濁は改善した一方で、**豊かな水環境は実現できていない**。近年、水環境の保全や創出に携わる担い手不足や活動資金も不足。

水に関する世論調査

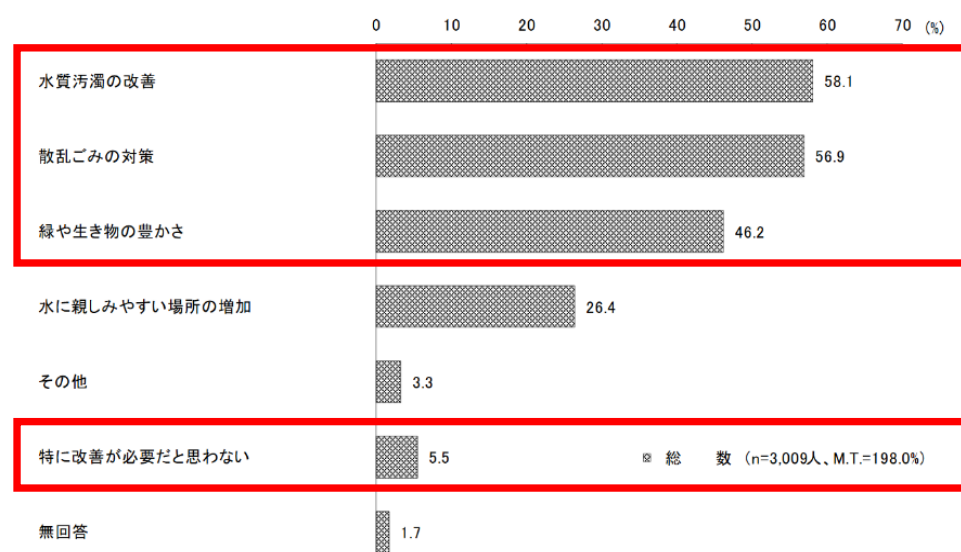
問：行政に力を入れてほしいことは？



出典：水に関する世論調査（平成20年6月調査）
 ※グラフ上段：平成20年調査、下段：平成13年調査
 ※上位5項目を記載

身近な環境（水辺、緑地、大気など）に関する世論調査

問：水環境にどのような改善策を期待するか？



出典：身近な環境（水辺、緑地、大気など）に関する世論調査（令和6年 内閣府）

- ・環境基準の達成状況は、高止まりで横ばいだが、「**特に改善が必要と思わない**」が「5.5%」となっている。
- ・「今後の水環境保全の在り方について」（平成23年3月）では、「河川 BOD が 9 割以上達成、海域 COD が 8 割程度となっているが、水環境に関する国民の実感が低く、乖離」と指摘。

課題等の状況（②利活用の取組が限定的な状況）

- ② 豊かな豊かな水環境は、地域の文化や生活を形作ってきたものであり、現在、課題となっている**地方活性化へのソリューション**として、地域固有の水環境を保全しつつ、**観光や地場産業の創出などの水環境の利活用に取り組む地域が増えてきている**が、その**取組は限定的**。

保全や管理不足により満足度が低下

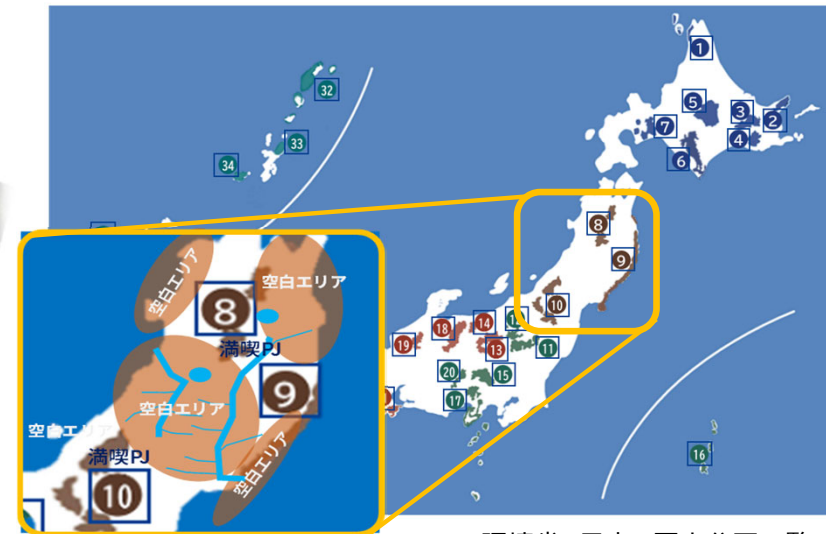
- ・地域を育んできた良好な環境の保全をしないことで、魅力が低下し、地域の関心が低下する。
- ・高齢化等によって管理不足になった水環境は安心安全の確保にも影響を及ぼす可能性がある。



出典：水環境・土壌農業部会 水環境制度小委員会（第2回）資料4
[法政大学現代福祉学部 野田岳仁准教授提出資料](#)

限定的な取組の状況

- ・水環境が重要な資源であることを見出して、その活用が一部地域で取り組まれているが、現在は限定的である。



環境省 日本の国立公園一覧

課題等の状況（③水環境の利活用への期待）

- ③ 内閣官房が推進する「地域未来戦略」においても、地方の伸び代を最大限活かすため、「地場産業」の成長プランを強力に後押しするなど、地域活性化が重要戦略となっているところ、各地の水環境の利活用を推進することは、住民の豊かさ・満足度向上への寄与と、観光や地場産業の強化を含めた地域経済発展の好循環をもたらすことが可能。

水環境の利活用の実施例

富山県氷見市上久津呂集落：
天然記念物であるイタセンバラの生態や生育環境の理解を通じて、氷見の農業や人びとの暮らしの豊かさを再認識することを目指したアクアツーリズムを実施。（右図）

地域未来戦略

地方が持つ伸び代を活かし、国民の暮らしと安全を守るため、地域ごとの産業クラスターを全国各地に形成し、世界をリードする技術・ビジネスを創出し、地場産業の付加価値向上と販路開拓を強力に支援することを検討中。



出典：水環境・土壌農業部会 水環境制度小委員会（第2回）資料4
法政大学現代福祉学部 野田岳仁准教授提出資料

課題等の状況（④持続可能な活用）

- ④ 一方的で過度な水環境の利活用は、**水質、景観などの悪化を招くおそれがあり、水環境の活用を継続していく観点から保全の取組も併せて行う事が必要。**

各地域における課題の例

- ・利用者によるごみのポイ捨て等により、水域の環境が悪化するおそれもある。
- ・観光客が地域の水環境を利用する場合は、地域の人々の理解が得られないと対立する場合も考えられる。

<混雑>

【公共交通の混雑】

- 観光客が多い時期に、公共交通の混雑が発生。沿線住民から、電車やバスを利用しづらいとの声。

【交通渋滞】

- 自家用車や観光バスによる交通渋滞が発生。
- 大型クルーズ船の入港時、多数の観光バスにより市街地で交通渋滞が発生。



駅改札付近の混雑状況

<マナー違反>

【私有地への無断侵入】

- 写真撮影のため、観光客が農家の所有地である畑や花畑に無断侵入する状況が発生。

【路上等へのゴミのポイ捨て】

- 観光客が路上や用水路等にゴミを捨てるため、地域住民が拾わざるをえない状況が発生。



農地に立ち入るバスツアー観光客

出典：オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議（第1回）資料 より引用

今後の水環境制度の展開について（背景と方向性）

- 水辺を保全・活用した地域づくりなど、**良好な水環境の保全と活用を促進**する制度を検討
- 「水質」のみではなく、「景観」「水生生物」など、水環境の**多面的なモニタリング**の制度を検討

昭和の時代

水質汚濁対策が喫緊の課題



泡立ち、臭気を放つ川

ゴミが目立つ川や海岸

環境基準の創設
排水基準、排水規制の創設
BOD/CODを中心としたモニタリング

平成の時代

水質は改善



汚濁対策が必要な水域は一部残っているが、多くの水域で水質が改善



環境基準（生活環境項目）の達成率は、20年程度ほとんど横ばいで推移

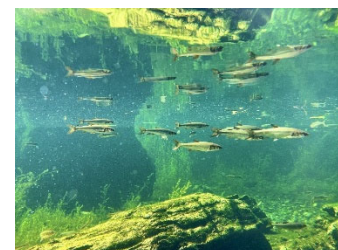
水生生物保全環境基準、底層溶存酸素量など新しい制度を取り入れてきたが、基本的には公害時代の制度をそのまま引き継いでいる

令和の時代

良好な水環境の創出



水質のみならず、水生生物や景観など幅広い観点から良好な水辺を目指す



地域ニーズを踏まえ、地場産業・地域づくりなど、「保全」に加え、水辺の「活用」の観点を取り入れ、多くの主体を巻き込む

これまでの汚濁対策の制度をベースとしつつ、良好な水環境の創出を目指す制度へ発展